

令和5年度小・中・義務教育学校教育課程東部地区研究協議会実施報告

1 目的

学習指導要領改訂の趣旨や各教科等の改善事項等について協議し、内容の周知を図ることで今後の小・中・義務教育学校教育の改善及び充実に資する。

2 主催

埼玉県教育委員会、埼玉縣市町村教育委員会連合会、埼玉県連合教育研究会
埼玉県公立小学校校長会、埼玉県中学校校長会

3 参加者

東部教育事務所管内各小・中・義務教育学校教員



4 期日

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| (1) webによる行政説明（部会ごと） | 令和5年7月14日（金）～8月31日（木） |
| (2) 小学校・義務教育学校（前期課程）教育課程研究協議会 | 令和5年7月25日（火） |
| (3) 中学校・義務教育学校（後期課程）教育課程研究協議会 | 令和5年7月26日（水） |

5 会場

研究協議会はオンライン（Zoom）で実施
動画視聴は各学校で実施



6 部会

- 小学校・義務教育学校（前期課程）
総則、国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語・外国語活動、
道徳、総合的な学習の時間、特別活動及び特別支援教育の15部会
- 中学校・義務教育学校（後期課程）
総則、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭（各分野）、外国語、
道徳、総合的な学習の時間、特別活動及び特別支援教育の15部会

7 主な内容

- 発表者による協議題に基づいた実践発表
- グループ協議（各グループ5名程度）
- グループからの発表
- 指導助言者による指導



8 本年度の成果

- 本年度は、総則部会が追加され、15部会をオンラインで開催した。小学校・義務教育学校（前期課程）は1433名、中学校・義務教育学校（後期課程）は690名、合計2123名の教員が参加した。
- 発表者による協議題に基づいたレポートから、参会者の主体的な取組、指導助言者の的確な指導により、充実した研修会となった。特に、参会者によるグループ協議では、各学校の実践をもとに具体的な協議となった。また、全体でグループ協議の内容を共有したことで、他グループでの深まった協議内容を知ることができた。
- 各学校での伝達を通して、今後の小・中・義務教育学校教育の授業改善及び充実に資することを期待する。